

盾

ジュン
たて

9画
一 厂 尸 盾 盾

「左下へはらう」

なりたち 目だけを出して頭部を包む防具(兜(かぶと))を表した字。矢や矛などを防ぐために用いる「防具」だが、その代表的な「盾」の意味に用いる。



盾循

いみとじゆくこ

▼盾。敵から身を守る武器。矛盾：二つのものが、論理的に合わないこと。つじつまが合わないこと。【用例】今の発言は前に述べた意見と矛盾している。*中国の寓話(おとぎ話)から出た言葉。ある人が、矛と盾とを売っていた。矛を売る時には、これはどんな盾をも通す矛だと言い、盾を売る時には、これはどんな武器をも防ぎ止める盾だと言った。それを聞いていた人が、その矛でその盾を突いたらどうなるかと尋ねた。売り手は答えることができなかった、という話から。



よみかた 後ろ盾

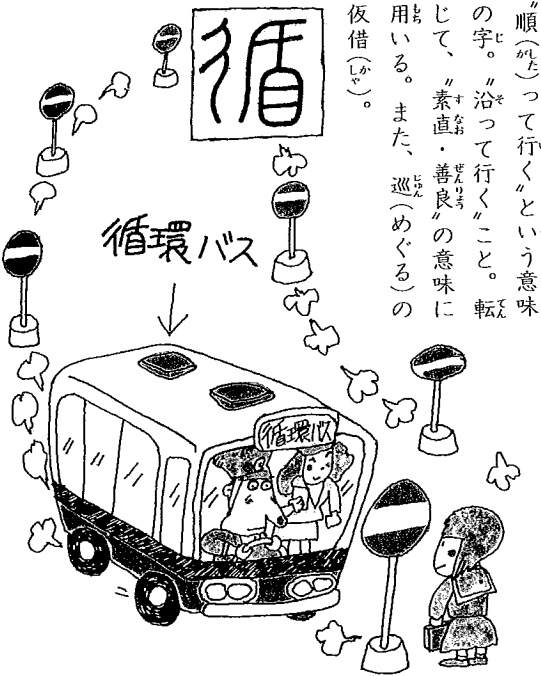
循

ジュン

12画
一 彳 彳 彳 循 循

「左下へはらう」

なりたち 順の意味を借りた盾と、行の意味の彳(ぎよう)にんべん)との会意形声字。「順(ゆ)って行く」という意味の字。「浴(ゆ)って行く」こと。転じて、「素直・善良」の意味に用いる。また、巡(めぐ)るの仮借(か)じ。



いみとじゆくこ

▼従う。浴(ゆ)って行く。因循：①古いしきたりに従っているだけで、改良しようとして、決断力が無い様子として、②ぐずぐず巡(めぐ)る。回る。

循環：同じ所をぐるぐる回ること。【例】循環器(人体で、心臓・血管・リンパ管など)。

伐

ハツ

6画
一 亻 代 伐 伐

「はねる」

なりたち 兵車に結び付けられた長柄の武器「矛」をかたどった「戈(ゴ)」と人との会意字。人が戈を執り、敵を討つことを表した字。転じて、「切る」の意味に用いる。また、「功績・誇る」の意味にも用いる。



いみとじゆくこ

▼討つ。敵を攻める。討伐：軍隊を出して、反抗する者を攻め討つこと。【例】討伐軍

伐罪：罪のある者や服従しない者を攻め平らげること。

▼切る。伐採：樹木などを切り取ること。【用例】森林を伐採して道路をつくる。

乱伐：むやみに山林の樹木を切ること。「濫伐」とも書く。盗伐：他人の所有する山林から、こっそり木や竹などを切つて盗み出すこと。

殺す。殺伐：人を殺すことを何とも思わないような、とげとげしく、すきんだ様子。【用例】殺伐とした雰囲気。

▼誇る。伐閥

伐閥

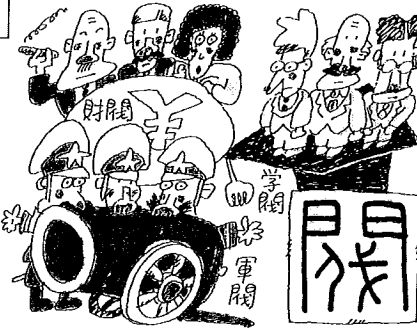
閥

ハツ

14画
一 門 門 閥 閥

「はねる」

なりたち 功績の意味の伐と、家門の意味の門との会意形声字。「功績ある家門(家柄)」という意味の字。わが国では、出身や利害を同じくする者の仲間の意味に用いる。派閥。



いみとじゆくこ

▼出身や利害関係が同じである者の仲間。排他的な傾向が極めて強い。派閥。

学閥：ある学校出身者、または、ある学派によって作られた派閥。

軍閥：軍人によって作られた政治的勢力を持つグループ。

派閥：出身地や出身学校、利害関係などが同じであることと結びついている仲間。

財閥：大財力を有する資本家の一族によって作られた集団。

藩閥：明治時代、同じ藩、特に勢力の強い藩(長州藩等)の出身者によって作られた派閥。

▼家から。門閥：立派な家柄の一族。

よみかた 党閥・閥族